

Title	二〇〇〇年度 三田史学会大会プログラム
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2000
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.70, No.1 (2000. 9) ,p.145- 148
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20000900-0145

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

二〇〇〇年度 三田史学会大会プログラム

二〇〇〇年六月二十四日(土)

研究発表

日本史部会

- 1 竹越與三郎の經濟史論と実業人伝——『大川平三郎君伝』を中心に——
慶應義塾大学(大学院博士課程) 堀 和孝
- 2 幕末錦絵の瓦版化
神奈川大学(常民文化研究所特別研究員) 富沢 達三
- 3 近世期名所のセット化と富士・大山参詣
慶應義塾大学(大学院博士課程) 原 淳一郎
- 4 京都における土倉の同業者組織について
慶應義塾大学 中島 圭一

東洋史部会

- 1 ザンギー朝分立期におけるモスル政権の動向
慶應義塾大学(大学院博士課程) 柳谷 あゆみ
- 2 晋察冀解放区の經濟建設——貨幣と権力の浸透について(一九四五—一九四八年)——
慶應義塾大学(大学院博士課程) 一谷 和郎
- 3 中国古代における異常出生譚について
慶應義塾大学(大学院博士課程) 丸山 雄
- 4 オスマン朝における土地制度史料の問題
東洋大学 三沢 伸生

西洋史部会

- 1 ウィリアム・ダグデイルとウォリックシャ 慶應義塾大学(大学院博士課程) 久保田 貴叔
- 2 初期フォイエルバッハにおけるキリスト教批判と三月前期の神学論争 慶應義塾大学(大学院博士課程) 富村 圭
- 3 「聖なるカークス」——エトルスコ・ローマン伝説の形成—— 同志社大学(大学院博士課程) 岩崎 努
- 4 ナポレオン戦争期のハプスブルク帝国における中央政府改革の試み
——メッテルニヒとバルダツツイの提案を手がかりに—— 広島大学(大学院博士課程) 田中 慎一朗

民族学考古学部会

- 1 二里頭文化の形成における集落形態の変容——洛陽周辺を中心にして—— 慶應義塾大学(大学院修士課程) 久慈 大介
- 2 曾利式土器の地域差——関東地方西南部における事例を中心として—— 慶應義塾大学(大学院修士課程) 阿部 功嗣
- 3 甲骨文における「書体」の分類
——第1期賓組貞人署名卜辞における「書体」の多様性をめぐって—— 慶應義塾大学(大学院修士課程) 崎川 隆
- 4 石刃石器における素材剝片の選択性について——特にサイズに基づく分析を通して—— 慶應義塾大学(大学院修士課程) 水村 直人

シンポジウム

テーマ 中世環地中海圏都市の救貧

一〇〜一五世紀を中心に、地中海世界の都市社会における救貧／貧民救済の多様性と共通性をイスラーム圏及び隣接するキリスト教圏（ビザンツ、ヨーロッパ）の相互比較によって探究する。日常・非日常の救貧を担う政治権力や宗教・社会集団、慈善施設や寄進財産制度の実態を比較するにとどまらず、聖地・巡礼と救貧、救貧行為の政治的含意、救貧の心性史的側面などの問題についても、都市史の研究者が各自のフィールドから語り、多角的な議論を試みる。

発表者 関 哲行氏（流通経済大学社会学部、スペイン史）

三浦 徹氏（お茶の水女子大学文教育学部、シリア史）

大月康弘氏（一橋大学大学院経済学研究科、ビザンツ史）

長谷部史彦氏（慶應義塾大学文学部、エジプト史、司会）

三田史学会総会

懇親会

三田史学会常任委員・委員（二〇〇〇年七月〜二〇〇一年六月）

常任委員

会長 小川英雄

庶務 柳田利夫、長谷部史彦、清水祐司、棚橋 訓

編集 田代和生、山本英史、大森雄太郎、阿部祥人

会計 柳田利夫

會計監査

東畑隆介、宮崎 洋

委員

(日本史) 鈴江英一、戸沢行夫、西岡芳文、湯淺吉美、糸賀茂男、木村直也

(東洋史) 尾崎 康、山城喜憲、森 雅子、三沢伸生、野元 晋

(西洋史) 田辺三千広、宮前安子、米田 治、坂口昂吉

(民族学考古学) 近森 正、鈴木公雄、藤村東男